

事業企画書

団体名	音楽の祭日実行委員会（音咲き）		
事業名	音楽の祭日 in 弘前（Fête de la Musique à Hirosaki） ※ <b>新規</b> ・ 継続 （同じ事業での申請_____回目）		
事業実施 予定の期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 7 月 31 日		
事業実施 予定の場所	蓬萊橋広場、土手町コミュニケ ーションセンターなど土手町 周辺	参加予定の 人数	350 人 （うち構成員数 7 人）

○今回申請する事業についてお書きください。

<p>この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。</p> <p>【審査の視点：必要性】</p>	<p>（きっかけ）</p> <p>団体自体は弘前大学人文学部の複言語・複文化プロジェクトの一環として誕生しました。実施を考えたきっかけとしては、国立大学もあり、様々な外国の文化がみられる弘前市において、独自のものを実施したかったため。また、弘前市を有名にするようなねぶた以外にも大きなお祭りを作り出し、市の活性化に貢献したいという考えからです。</p> <p>私たちは学生ではありますが、学生なりに弘前市という存在を見つめてきました。弘前市にはたくさんの歴史情緒、もしくは日本にいながらも異国情緒ある建物や、お店があります。しかしねぶたや桜などといった最も有名なものも然ることながら、なぜ他のものはなかなか注目されないのか。なぜあまり知られていないのか。私たちには疑問で仕方ありません。</p> <p>だからこそもっと弘前市外から注目してもらえるような大きな、そして外国文化を外にも中にも知ってもらえるような、そんなイベントを作りたい。それがこのイベントを企画したきっかけです。</p> <p>（目的）</p> <p>外国の文化が多くみられる弘前市において、特にフランスに着目し、他文化を市内外に紹介しつつ、市内外の人々（学生・社会人問わず）をも巻き込んだ、ねぶたにも並ぶ大きなイベントを創出すること。これによりビッグイベントとして、まずはねぶたや桜以外にも楽しそうなことがある、ということに気づいてもらう（市内外両方に）。そして最終的に土手町に活気を、弘前市全体に活気をもたらすことが目的です。</p>
---	--

<p>この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。</p> <p>【審査の視点：公益性、実現性】</p>	<p>(対象となる人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前市内外の方々</li> <li>・ジャンルや熟練度を問わず、音楽を表現したいの方々</li> </ul> <p>(内容・方法)</p> <p>日時：6月21日(土) 10:00~18:00(予定)</p> <p>場所：弘前市土手町</p> <p>周知方法：ポスター、HP、その他 SNS など</p> <p>対象者：全年齢(学生・社会人、プロ・アマ不問)</p> <p>イメージ：仙台の定禅寺 Jazz フェスティバルのように、弘前市の通り全面において、音楽であらわれているような状態を目指す</p> <hr/> <p>※事業名の欄で「継続」と回答した団体のみお書きください。 (新たな内容や改善点など、前回との違い)</p>
---	---

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】  
 (準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程(月日)	実施内容	場所	時間	参加者数等
平成26年 ～2月	事業打ち合わせ	コラボ弘大		7～20人
1月～4月	イベント参加団体募集	弘前市内・外		
1月～4月	関係者打ち合わせ	弘前市内		7～20人
3月～5月	協賛募集			
5月	チラシ・ポスター・パンフレット作成(それぞれ2000・200・450)配布			
6月上旬	「音楽の祭日 in 弘前」 開催準備			7～20人
6月21日	「音楽の祭日 in 弘前」 開催			300人
6月下旬	アンケート集計			
7月	反省会 実施報告書作成			

○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点：公益性】

<p>この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と大学のつながりの強化</li> <li>・様々な世代の交流の実現</li> <li>・次年度以降も続け、徐々に発展させていくことによって、ねぶたとも並ぶ市への集客貢献</li> <li>・新たなイベントを作り出すことによって、第1段階として市民の関心を得ることにつなげ、地域と人の結びつきの強化</li> <li>・弘前市外の人に対する広報</li> </ul>
--	--

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

<p>来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。</p>	<p>大学内のイチ学生団体として受け継ぎ、イベントの開催範囲を徐々に広げることによってゆくゆくは市全体でイベントを実施することを目指す。 更にはイベント参加者の裾野も広げ、市内外（外国も含む）とのつながりを作り出し、イベントの認知度と共に市の認知度もあげていく。</p>
--	---

○来年度以降の財源についてお書きください。

<p>来年度以降も、補助金申請を要望しますか。</p>	<p>( <input checked="" type="radio"/> 要望する <input type="radio"/> 要望しない )</p> <p>いつまでをお考えですか。平成 ( 30 ) 年まで</p> <p>※当補助金は単年度申込み補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。</p>
-----------------------------	--

○他の補助制度の活用についてお書きください。

<p>今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。</p>	<p>( <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (補助制度の名称： ) )</p>
--	---

○保険についてお書きください。

<p>事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。</p>	<p>加入しない <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 加入する (保険の名称：三井住友海上火災保険 )</p>
-------------------------------	--

備考

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 2 用紙が不足する項目は、別紙としてください。

収支予算書

【審査の視点：費用の妥当性】

1 収入

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要
市民参加型まちづくり1%システム支援補助金	500,000	500,000	
参加費	0		
協賛金	220,700		
団体会費	28,000		年会費 4,000円×7人
収入合計	748,700		※支出の合計と同額

2 支出

(単位：円)

区 分	金 額	採択金額	摘 要
講師等謝礼	0	0	
交通費	0	0	
消耗品費及び原材料費	20,460	20,460	
食糧費	0	0	
燃料費	0	0	
印刷製本費	96,000	96,000	
通信運搬費	0	0	
保険料	10,000	10,000	
使用料及び賃借料	558,240	558,240	
その他経費	64,000	64,000	
支出合計	748,700	748,700	

補助金の額の算定根拠	① (補助対象経費) × (補助率0.9) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 748,700円 × 0.9 ≒ 673,000円
	② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 748,700円 - 248,700円 ≒ 500,000円
	①・②のいずれか少ない額 (補助金申請額) <u>500,000</u> 円 (原則50万円を限度)



(NO.2)  
(単位：円)

項目	品名	数量	単価	金額	採択金額	摘要
その他経費	看板作成料	2	10,000	20,000	20,000	会場掲示用
	タペストリー作成	4	11,000	44,000	44,000	会場掲示用
合計				748,700	748,700	

備考

- 1 太枠内は記入しないでください。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦長としてください。
- 3 用紙が不足するときは、別紙を添付してください。